

平成29年第3回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成29年3月28日(火)
午後3時から午後5時まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 荒 川 和 子
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に参加した者の氏名

生涯学習部長	小 澤 一 巳	次長兼教育総務課長	滝 嶋 正 司
社会教育課長	大 寺 宏 之	中央公民館長	田 中 肇 夫
中央図書館長	奥 富 悟	スポーツ振興課長	栗 原 和 昭
学校教育部長	井 堀 広 幸	参事兼教育指導課長	和 田 雅 士
教育センター所長	鈴 木 浩 明	学 務 課 長	奥 野 高 雄
書 記	中 山 昭 夫		

会議の公開・非公開 議案第10号及び議案第11号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍聴者数 0名

前回会議録の報告に対する教育委員からの質疑等

残しておきたい狭山の風景展に関し、狭山には、童絵作家や詩人など、全国区で活躍していたり、していた方々があり、その方々の資料がこのままではなくなってしまう可能性もあるのではないかと感じており、図書館、公民館、博物館など連携して狭山市の財産として整理して残していき、子ども達や市民に紹介してもらいたい旨の意見がなされた。

報告事項

・平成29年第1回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)

(学校教育部長)

(要旨)

会期は、2月24日(金)から3月21日(火)までの26日間であり、議案は21件で、それぞれ原案のとおり可決された。一般質問については、16名で、うち教育委員会関係は9名であった。三浦和也議員から入曽公民館更新事業について、猪俣嘉直議員から子どもの貧困、学校給食の無償化及び就学援助制度について、大沢えみ子議員から国保広域化の影響について、笹本英輔議員からキャリア教育について、加賀谷勉議員から一人一人の学ぶ権利を守るについて、高橋ブラクソン久美子議員から教育について、太田博希議員から小中学校統廃合後の学校運営状況、学校施設のあり方について、望月高志議員から公民館について、大島政教議員から市立公民館更新と地域交流施設(仮称)建設構想、補助金見直しについて、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

- ・平成28年度冬期企画展「びっくり！飛び出す絵本展」について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

12月20日(土)から3月5日(日)までの全65日間開催した。入館者数は、9,044人で、1日平均約139人であった。また、関連事業として「冬のまいまい体験講座」等を実施した旨の報告がなされた。

- ・平成28年度狭山市立公民館・富士見集会所利用者アンケート(利用者満足度調査)等について

報告者(中央公民館長)

(要旨)

平成28年10月に全公民館と富士見集会所のサークルなどの利用者を対象に実施した。公民館の運営に対する調査の結果については、一定の評価を得ているが、意見等から施設の経年劣化に伴う課題も浮き彫りにされたことが分かった。また、同時に市内にある6つの高等学校に在籍する市内在住の生徒と市民交流センターを利用する市内在住の高校生を対象に、若年世代のボランティア活動をきっかけとした公民館の利用促進と公民館活動のさらなる充実を図ることを目的に高校生のボランティア活動に関する意識調査を実施した。ボランティア活動に「関心がある」また「とても関心がある」という生徒は71%、実際にボランティア活動に参加したことがある生徒は約50%であり、「その情報はどこで知りましたか」という項目については、約40%が学校から知らされており、今後の若年層の公民館利用を促進するためには学校との連携が必要不可欠であり、そのためには情報発信の必要性や職員の資質のより一層の向上が必要であると思われる。指定管理の公民館3館の利用者満足度調査については、「満足」、「やや満足」の割合は全体で76%、特に広瀬公民館については85.1%と非常に高い数字を示している。なお、直営館の平均は、

58. 1%という状況である旨の報告がなされた。

- ・残しておきたい狭山の風景展の開催結果について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

3月10日（金）から13日（月）まで市民交流センターで開催した。会場には、講座参加者が撮影した写真300点と池原先生の原画41点、その他俳句など展示され、4日間で約800名が来場した旨の報告がなされた。

- ・平成29年度狭山市公民館基本方針・重点目標について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

平成29年度の公民館の基本方針、重点目標については、平成28年度を初年度とする第5次狭山市生涯学習基本計画に設定した「自分を磨き社会を支える豊かな学びの振興」の基本目標を達成するため、4本の基本方針を掲げそれぞれに重点目標を定め公民館全体で、また各館で公民館事業に取り組むものである旨の報告がなされた。

- ・平成29年度社会体育事業計画（案）について

報告者（スポーツ推進課長）

（要旨）

平成29年度に実施予定の各種教室、行事及びスポーツ団体による各事業、また、学校体育館の開放事業について、報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、学校体育施設の開放については、今の時期は長期の休館になっており、非常に長すぎるのではないかと思う。生涯スポーツを行う中では、総合体育館や狭山台の体育館もあるが、利用率が高く利用できない状況なので、学校に理解をいただいて休館の期間を短くしてもらいたいと思う旨の意見に、個別に学校の状況を確認した。卒業、入学式等のあるこの期間に小学校では、お別れ会の行事などでどうしても椅子の出し入れなどがあり、出来るだけ最小にとどめたいと思っているが、なかなか思うようにならないということであり、引き続きこの件については学校に働きかけをしていきたいと考えている旨の答弁がなされた。

- ・平成29年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の実施について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

全国学力・学習状況調査は、平成29年4月18日（火）に実施され、調査対象は小学6年生と中学3年生であり、調査事項は小学校が国語、算数、中学校が国語、数学で、出題内容は基礎的な内容のA問題、応用的なB問題を実施

し、合わせて質問紙調査が行われる。埼玉県学力・学習状況調査は、平成29年4月13日（木）に実施され、調査対象は小学校4年生から中学校3年生まで、教科に対する調査は小学校が国語、算数、中学校は1年生が国語、算数、2・3年生が国語、数学、英語である。合わせて全国と同様に質問紙調査が行われる旨の報告がなされた。

- ・平成28年度狭山市立小学校・中学校・幼稚園 自己評価及び学校関係者評価（報告）について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

学校経営が順調にしているか等の項目については、概ねどの学校もA評価或いはB評価を関係者評価でもらっている。その他の教育課程、学習、地域との連携等についてもA若しくはBという評価をもらっている。なお、小学校では、「進んで挨拶している」という項目にCがついている学校が複数あった。また、「場に応じた言葉遣いができている」という項目についてC、「決まりを守っている」という項目がC、「文字を丁寧に書く」という項目についても複数にCがついている関係者評価があった。市として課題として捉えている「家庭学習の習慣化」の項目については、関係者も小中学校共通でC評価がついている。この結果を踏まえ、校長会等で市全体の傾向を知らせ、次年度の学校経営に活かすよう指導したいと考えている旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、学校関係者評価と学校関係者というのとは県からの言葉かと思うが、狭山市では学校評議員ということかとの質疑に、学校評議員の評価である旨の答弁がなされた。ほとんどの学校がA、B、Cという評価で良いかなと思いつつも、挨拶に関しては粘り強く指導してもらいたい。また、学力の個人差は家庭学習の個人差、家庭環境また家庭保護者の意識の違いで出てきているところが今後の課題かと感じた。教員に関しては、「めあて」と「まとめ」をしっかり意識しており、外部の参会者からも分りやすい授業だという評価を得ているが、どうしてもまとめの段階で教員が生徒達の活動時間がうまくまとめられず、駆け足で終わってしまっているところがあるので、指導計画をきちっと練るようにしてもらいたい。また、教師の力量には、研修は欠かせないと教員も感じているので各学校でしっかりやってもらいたい。地域との連携に関しても、教員は頑張っているが、地域の方々と触れ合うのは良いことだという反面いろいろ負担感を感じているところがあり、その辺が課題かなと感じた旨の意見がなされた。

- ・平成29年度狭山市立小中学校人事異動の概要について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

新採用者は、中学校が7名、小学校が12名である。再任用教員は、中学校

が19名、小学校が18名と年々少しずつ増えている状況にある。なお、経験人事対象者の異動の解消率は、中学校が45%、小学校が39.3%となった。加配については、中学校で9種類、小学校で11種類の加配がなされている。特徴的なところとして、中学校では引き続き狭山台中学校に心身モデル加配を1名つけてもらった。生徒指導モデル加配についても、狭山台中学校と入間野中学校につけてもらっている。なお、小学校は、通級指導対応加配について、広瀬小学校に県費の職員で正式に通級指導教室自閉症情緒が立ち上がるということで、1名プラスして3名つけてもらった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、広瀬小学校の通級教室ができて大変利用される方もいると思うが、どのような教員が加配されたのかとの質疑に、狭山台小学校で通級の経験豊富な教員が配置される予定である旨の答弁がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（中央図書館長）
（スポーツ推進課長）
（社会教育課長）
（中央公民館長）

（要旨）

平成28年度第2回狭山市立図書館協議会、平成28年度第3回狭山市スポーツ推進審議会、平成28年度第2回狭山市立富士見集会所運営審議会、平成28年度第3回狭山市公民館運営審議会及び平成28年度第3回狭山市社会教育委員会議の開催結果について、その概要の報告がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者（社会教育課長）
（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係4件及び教育指導課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

議 案

議案第6号 狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

狭山市行政組織条例の一部改正による組織改正に伴い、事務分掌について所要の改正をするため、提案がなされたものである。

議案第6号については、原案可決した。

議案第7号 狭山市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則

学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（平成28年埼玉県条例第68号）及び学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則（平成28年教育委員会規則第28号）が公布されたことに伴い、所要の改正をするため、提案がなされたものである。

議案第7号については、原案可決した。

議案第8号 狭山市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則

学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（平成28年埼玉県条例第68号）及び学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則（平成28年教育委員会規則第28号）が公布されたことに伴い、所要の改正をするため、提案がなされたものである。

議案第8号については、原案可決した。

議案第9号 狭山市立幼稚園授業料減免に関する規則の一部を改正する規則

狭山市立幼稚園授業料の減免額について、減免額算定の基準となる市町村民税において、未婚のひとり親世帯に対し、寡婦（夫）控除をみなし適用するため、提案がなされたものである。

議案第9号については、原案可決した。

議案第10号 狭山市文化財保護審議会委員の委嘱について

狭山市文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱するため、提案がなされたものである。

議案第10号については、原案可決した。

議案第11号 平成29年度狭山市教育委員会管理職の人事異動について

平成29年度狭山市教育委員会管理職の人事異動を実施するため、提案がなされたものである。

議案第11号については、原案可決した。

以 上